

# FORWARD

## 第27期中間報告書

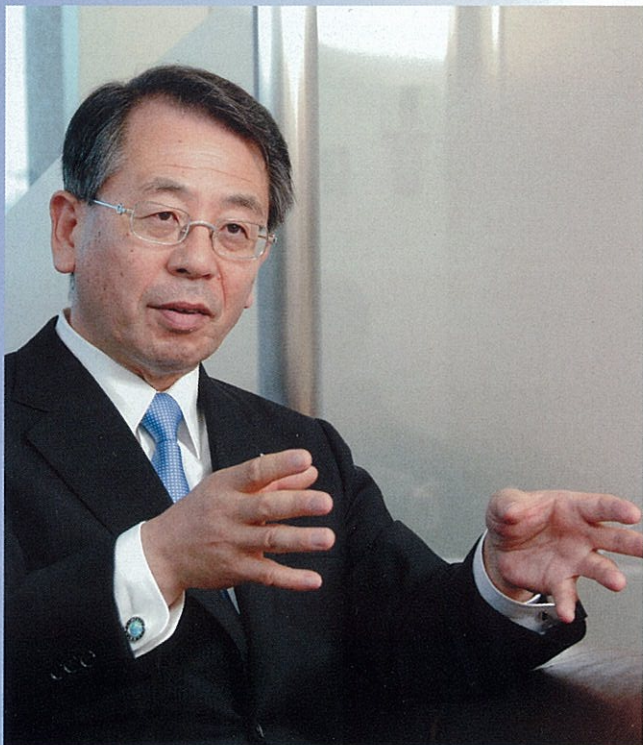
平成19年3月1日から平成19年8月31日まで



株式会社 **京進**  
KYOSHIN CO.,LTD.

## 社会から信頼され、発展する教育企業を目指して

京進を、理念的にも経営的にももっと素晴らしい企業とするために、まず私たち自身から、変革に取り組んでいます。



代表取締役社長  
立木 貞昭

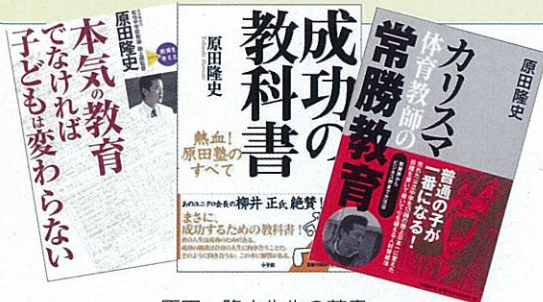
### 教育理念～私たちが目指すもの

#### 教育理念

1. 私たちは、学力と人間性の向上をはかります
2. 私たちは、達成体験を通じて自信がつく指導をします
3. 私たちは、自立と貢献のできる人を育成します
4. 私たちは、国際社会で活躍できる人を育成します

#### 教室訓

- 目標を持とう！
- 目標に向かって努力しよう！
- 礼節をわきまえよう！



原田 隆史先生の著書

## 『自立型人間育成プログラム(リーチング)』への取り組み。

京進では、教育理念で謳っているように学力の向上だけでなく、「人間性の向上」を重要視しています。創業当時から、生徒には、「自立した優しさ」を持つとともに、勉強を通じて、「やればできるという自分自身に対する自信を持ち、困難に出会っても乗り切っていける強い人間」に育てて欲しいと強く願ってきました。そのために、「目標を持とう！目標に向かって努力しよう！」と教室訓にも掲げています。

### 自立型人間育成プログラムとの出会い

実は、私は学生時代から毎年、年間の目標を作り、自分なりに毎日チェックをするという習慣を続けていました。そのような中、原田隆史先生の書籍と出会い、またお話を聴く機会もあり、自分の考え方が体系化されていることに驚くとともに、強い共感を覚えました。原田先生は、陸上競技で達成体験を通じて自立型人間の育成を行ってこられました。この自立型人間育成プログラム(リーチング)では、大きな夢(目標)を達成するために、小さな目標を設定し、達成体験を積み重ねる中で、自信をつけるようになっていきます。そこで大事なのが、「目標も自分で考えて作る」というところです。他者から与えられたものではなく、自分で

考えた目標に向かって努力することが大切なのです。

また、勉強だけの目標ではなく、生活習慣や家族の一員としての協力、例えば皿洗いや掃除など、ちょっとしたことを毎日続ける、続けることによって達成体験を積み重ねていくようになっていきます。日常、周りのみんなのためにこつこつ努力することで、心がきれいになり、また、「みんなのために」という優しい心が育っていきます。当たり前のことを毎日できること、つまり習慣をつけていくことは、実は勉強にも効果が出てくるのです。ぜひ、生徒にも体得して欲しいと思っています。

今年の2月4日に原田先生を招いて、生徒・保護者対象の講演会を行いました。全社的には取り組み始めたばかりですが、多くの社員が勉強をしてくれています。現在、原田総研との共同開発を進め、生徒へのプログラムがほぼ完成しました。来春から本格的に導入し、「学力と人間性の向上」を今まで以上に実現させる大きな柱として取り組んでいきたいと思っています。





プログラム開発者

### 原田 隆史先生のプロフィール

原田総合教育研究所 所長

東京・京都・大阪『教師塾』塾頭 1960年大阪生まれ  
奈良教育大学卒業後、大阪市内の公立中学校に20年勤務。  
保健体育指導、生活指導、陸上競技部の指導に注力。

2003年春より天理大学講師として教職志望の学生を指導。  
スポーツ選手のメンタルトレーニング指導、教育現場再生プログラム構築、企業人材育成支援指導の講演活動など幅広く活躍中。  
現在京進との共同開発で「リーチング～生徒向け自立型人間育成プログラム～」を構築中。

著書紹介

「大人が変わる生活指導」  
「本気の教育でなければ子どもは変わらない」  
「カリスマ体育教師の常勝教育」  
「成功の教科書」 他

## 心を強くする生活習慣～他社との差別化に

また、このプログラムは、他社との差別化につながると考えています。今までは、当社でも「どうしたら学力がつくか」という点に特化して取り組んできましたし、当然、これは京進の生命線に関わる部分で、今後も続けていきます。しかし、それ以上に大事なものは、主体的に生徒が生きていく「生き方、考え方、習慣」を手助けすることで、それを通じて学力の向上が実現することだと思っています。以前、とある進学校の先生が「生活がきちんとしていないと、生徒の成績は、どうやっても伸びなくなる。」とおっしゃっていました。原田先生も、陸上部を指導されているときに、技と体で成績がとれると思っていたけれども、だめだった。心の方が大事だと気づいたけれども、まだ足りない。そして心を強くするためには生活習慣が必要だとわかり、それを生徒に実践したことで素晴らしい実績を残すことができたのです。「心>技・体+生活」がいかにか大事かということですね。

## 社員の成長と、今後の京進の発展

このプログラムを成功させるためには、教える社員や講師が、「人間的に模範を示す」ことが必要です。京進の従業員全員が、日々の生活をきちんとして、自分自身の生活の中で、自信をつける。自信に裏付けられた生徒指導をしていく、そういう集団でありたいと思っています。

京進が「自立した魅力のある先生の集まり」であれば、社会的にも必要な存在として認められると思います。また、社員が自立型人間になっていくことで、さまざまな工夫やノウハウが、蓄積されていくと思います。それが、今後の京進の発展にもつながると考えています。

## 人類の幸せへの貢献

最後に、自立型人間の育成は、日本だけでなく世界中の人にとって必要なことだと思います。大人の世界では、どこかで戦争があり、人々がいがみあっている現状があります。自立型人間を育成することにより、強さと同時に優しさを育み、子どもたちの世代では、戦争の無い世界になることを願ってやみません。子どもに対するプログラムではありませんが、そういう意味では、将来に通じる取り組みであると確信しています。

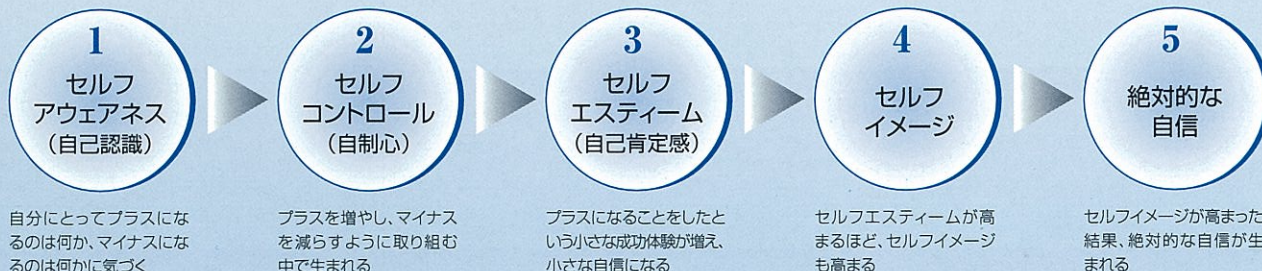
今後、日本で蓄積したノウハウを、海外の子どもたちにも提供していきたいと思っています。人類の幸せのために、学習指導と同時に「子どもたちの強さと優しさを育てる」～このプログラムをその一環と位置づけ、取り組んでいきたいと思っています。



### リーチングとは・・・

夢を目標に変え、達成のための方法を考えて行動し、日々改善・進化し続ける自立型人間育成法

### 「原田式」自信が生まれる5つのステップ



## 「学力向上の追求」と「自立型人間育成」により、高い顧客評価を実現します

学習塾は、生徒の希望に沿った進路選択、志望校合格を実現することが使命です。当社は、その結果と言える合格実績にこだわり、確保・伸長に努めたいと思っています。生命線である授業の品質向上のための人材育成、カリキュラムや教材・テストといった教育プログラム、個に応じた適切な進路指導、さまざまな教育情報の収集、これらを強化・改善させ、他社との差別化をはかってまいります。

また、創業当初から学力の向上だけでなく、人間性の向上に注力し、挨拶や礼儀の指導に取り組んでまいりました。今後、それをさらに進化させ、『自立型人間育成教育』を本格化すべくプログラム作成を進めております。生活面での指導も含めて、生徒の「心づくり」に努めてまいります。

## 27期中間期の業績

当中間期に、小中部で5校を新設開校いたしました。また、個別指導教室「京進スクール・ワン」のフランチャイズ教室については、当中間会計期間中に新たに8校開校、2校をFC事業部の直営化、1校を閉鎖し、63校となっております。生徒数では、若干の集客の遅れがあり、前年同期比99.4%となりました。結果、売上高5,838百万円（前年同期比99.8%）、経常損失445百万円（前年同期経常損失154百万円）、中間純損失449百万円（前年同期中間純損失153百万円）となりました。

## 安全への取り組み「講師研修の強化」

今期も引き続き、安全への取り組みの強化をはかっています。今年度は特に、講師研修を充実させ、「生徒への指導や接し方」「教務研修」のほかに、『京進が目指すべき「組織価値観」の理解と共有』『コンプライアンス(法令遵守)について』『不審者対応、生徒の疾病への対応、いじめの未然防止』『気をつけていただきたい言動などのケーススタディ』といった内容に力点を置いて取り組んでいます。また、すでに開催している「防犯訓練」のほか、下半期には消防署のご協力による『救命・救急研修』も実施を予定しています。



## T O P I C S

## 高校部「トップΣ京都駅前校」リニューアル開校

去る9月27日、収容人数1,000名規模の現役高校生対象「トップΣ京都駅前校」が開校しました。現役高校生のニーズにマッチした講座提供、快適な学習環境の提供、地域貢献を目的とした情報発信を行ってまいります。10月6日には、開校記念として『人気大学・リアル個別入試相談会』を実施し、国公立私立大学の先生方にお越しいただきました。また、並行して『成功者に聞く現役合格者相談会』『センター試験「先取り」ガイダンス』『センター現代文「ここだけ」講座』や、吉本興業のロザンを招いて『ロザンの現役合格トークショー』を行いました。開校イベントでは、200名を超える現役高校生や保護者が集まり、熱心に耳を傾けていました。



## 882坪のゆったり快適現役合格仕様

## 京都最大級196ブースの自習室

自習室「沈黙思考」は、延べ床面積2,910㎡もあり、夜は10時まで、日曜も使えるため、自宅では集中しづらい人には特におすすめ。学校帰りの勉強にも便利です。



## じっくり勉強、集中できる教室

トップΣは、先生の目が行き届き、質問しやすい教室サイズにこだわっています。シンプルで、集中力とリラックスに配慮したノウハウを結集しました。



## リラックスとリフレッシュ

集中自習の後は自慢の休憩室「AMUGI SPOT」でゆったりとリラックス。軽い食事をとったり、情報交換できるスペースを用意しています。



## 現役合格情報発信スポット

総合カウンターは、双方向コミュニケーションの場としてチューターへの質問や先生への相談など気軽にご利用いただけます。大学入試情報資料も充実しています。

## 安全重視のセキュリティ設計

ビル内にはカードがないと通れない自動改札システムを採用。駐輪場にも電子錠を設置しています。

## 面接ルーム

進路相談をはじめとした面接・面談はプライバシー保護に十分配慮しています。

# 中間財務情報（要約）

## ■ 中間貸借対照表

（単位：千円）

科目	当中間期 <small>(平成19年8月31日現在)</small>	前中間期 <small>(平成18年8月31日現在)</small>	前期 <small>(平成19年2月28日現在)</small>
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	614,133	699,582	761,858
売掛金	595,042	629,297	306,478
たな卸資産	112,978	121,341	114,112
繰延税金資産	162,672	156,541	132,543
その他	234,741	204,899	207,677
貸倒引当金	△ 36,620	△ 25,679	△ 28,152
<b>流動資産合計</b>	<b>1,682,947</b>	<b>1,785,982</b>	<b>1,494,518</b>
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物	2,181,123	1,991,748	2,012,743
土地	1,694,618	1,245,091	1,245,091
建設仮勘定	507,652	73,805	381,160
その他	387,710	445,219	433,280
<b>有形固定資産合計</b>	<b>4,771,105</b>	<b>3,755,865</b>	<b>4,072,275</b>
<b>無形固定資産</b>			
<b>無形固定資産合計</b>	<b>282,431</b>	<b>266,514</b>	<b>267,843</b>
<b>投資その他の資産</b>			
繰延税金資産	518,425	451,680	468,934
敷金・保証金	1,250,746	1,204,838	1,247,295
その他	439,863	456,744	465,633
貸倒引当金	△ 57,712	△ 27,238	△ 49,600
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,151,322</b>	<b>2,086,025</b>	<b>2,132,263</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,204,858</b>	<b>6,108,404</b>	<b>6,472,382</b>
<b>資産合計</b>	<b>8,887,806</b>	<b>7,894,387</b>	<b>7,966,900</b>

（単位：千円）

科目	当中間期 <small>(平成19年8月31日現在)</small>	前中間期 <small>(平成18年8月31日現在)</small>	前期 <small>(平成19年2月28日現在)</small>
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>			
買掛金	66,394	71,734	66,117
短期借入金	1,390,000	1,077,334	969,000
一年以内返済予定長期借入金	654,629	583,128	593,054
賞与引当金	296,144	285,969	211,577
未払金	566,575	649,484	509,003
未払法人税等	29,095	30,884	35,872
その他	247,697	260,164	250,805
<b>流動負債合計</b>	<b>3,250,536</b>	<b>2,958,698</b>	<b>2,635,430</b>
<b>固定負債</b>			
社債	700,000	200,000	200,000
長期借入金	1,474,452	1,156,971	1,228,986
退職給付引当金	812,145	691,803	750,349
役員退職慰労引当金	189,124	179,264	187,057
その他	9,111	7,483	7,600
<b>固定負債合計</b>	<b>3,184,833</b>	<b>2,235,522</b>	<b>2,373,993</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,435,369</b>	<b>5,194,221</b>	<b>5,009,423</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>			
資本金	327,893	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954	263,954
利益剰余金			
利益準備金	41,000	41,000	41,000
その他利益剰余金			
別途積立金	1,310,000	1,310,000	1,310,000
繰越利益剰余金	475,403	712,038	966,965
<b>利益剰余金合計</b>	<b>1,826,403</b>	<b>2,063,038</b>	<b>2,317,965</b>
自己株式	△ 1,395	△ 1,395	△ 1,395
<b>株主資本合計</b>	<b>2,416,855</b>	<b>2,653,490</b>	<b>2,908,416</b>
<b>評価・換算差額等</b>			
その他有価証券評価差額金	35,581	46,675	49,060
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>35,581</b>	<b>46,675</b>	<b>49,060</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,452,437</b>	<b>2,700,165</b>	<b>2,957,477</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,887,806</b>	<b>7,894,387</b>	<b>7,966,900</b>



## ■ 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成19年3月1日から 平成19年8月31日まで)	(平成18年3月1日から 平成18年8月31日まで)	(平成18年3月1日から 平成18年2月28日まで)
売上高	5,838,685	5,847,832	12,265,785
売上原価	4,533,144	4,394,982	8,891,525
売上総利益	1,305,540	1,452,849	3,374,260
販売費及び一般管理費	1,706,505	1,595,041	2,977,767
営業利益又は営業損失(△)	△ 400,964	△ 142,191	396,492
営業外収益	7,666	9,289	16,104
営業外費用	52,629	21,979	72,641
経常利益又は経常損失(△)	△ 445,926	△ 154,881	339,955
特別損失	60,544	45,074	63,203
税引前当期純利益又は 税引前中間純損失(△)	△ 506,471	△ 199,955	276,752
法人税、住民税及び事業税	13,551	22,074	238,742
法人税等調整額	△ 70,408	△ 68,430	△ 63,316
当期純利益又は中間純損失(△)	△ 449,614	△ 153,600	101,326

## 貸借対照表のポイント

- 有形固定資産が前年同期に比べて1,015,240千円増加しました。高校部のトップΣ京都駅前校ビル取得及び本社機能集中化のための本社ビル増築等によりです。
- 固定負債が前年同期に比べて949,310千円増加しました。トップΣ京都駅前校ビル取得資金と本社ビル増築資金を社債及び長期借入金で調達したことによりです。

## 損益計算書のポイント

- 生徒数は若干の集客の遅れがあり、前年同期比99.4%となりました。結果、売上高5,838,685千円(前年同期比99.8%)となりました。
- 売上原価及び販売費及び一般管理費は合わせて、前年同期に比べて249,625千円増加しました。主に人件費の増加によるものであります。

## ■ 中間株主資本等変動計算書 (平成19年3月1日から平成19年8月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金		評価・換 算差額等 合計	
			利益 準備金	その他利益剰余金 別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
平成19年2月28日 残高	327,893	263,954	41,000	1,310,000	966,965	2,317,965	△ 1,395	2,908,416	49,060	49,060	2,957,477
中間会計期間中の変動額											
別途積立金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	△ 41,947	△ 41,947	—	△ 41,947	—	—	△ 41,947
中間純損失	—	—	—	—	△ 449,614	△ 449,614	—	△ 449,614	—	—	△ 449,614
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△ 13,478	△ 13,478	△ 13,478	△ 13,478
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	△ 491,561	△ 491,561	—	△ 491,561	△ 13,478	△ 13,478	△ 505,040
平成19年8月31日 残高	327,893	263,954	41,000	1,310,000	475,403	1,826,403	△ 1,395	2,416,855	35,581	35,581	2,452,437

■ 中間要約連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成19年8月31日現在)	(平成18年8月31日現在)	(平成19年2月28日現在)
(資産の部)			
流動資産	1,855,438	1,931,755	1,648,749
固定資産	7,096,501	5,984,456	6,365,472
資産合計	8,951,940	7,916,212	8,014,221
(負債の部)			
流動負債	3,251,652	2,968,555	2,638,861
固定負債	3,184,833	2,235,522	2,373,993
負債合計	6,436,485	5,204,078	5,012,854
(純資産の部)			
株主資本	2,461,758	2,655,674	2,938,860
評価・換算差額等	51,894	56,459	61,883
少数株主持分	1,801	—	622
純資産合計	2,515,454	2,712,134	3,001,367
負債・純資産合計	8,951,940	7,916,212	8,014,221

■ 中間要約連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成19年3月1日から平成19年8月31日まで)	(平成18年3月1日から平成18年8月31日まで)	(平成18年3月1日から平成18年2月28日まで)
売上高	5,901,077	5,902,744	12,381,224
売上原価	4,576,828	4,434,778	8,984,484
売上総利益	1,324,249	1,467,966	3,396,739
販売費及び一般管理費	1,714,712	1,604,966	3,008,527
営業利益又は営業損失(△)	△ 390,462	△ 137,000	388,212
営業外収益	6,600	8,907	16,529
営業外費用	46,008	20,477	49,020
経常利益又は経常損失(△)	△ 429,871	△ 148,570	355,721
特別利益	—	—	11,703
特別損失	60,544	45,074	63,476
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△ 490,415	△ 193,645	303,947
法人税、住民税及び事業税	16,469	25,461	245,295
法人税等調整額	△ 70,418	△ 67,405	△ 72,831
少数株主損失	△ 1,312	—	—
当期純利益又は中間純損失(△)	△ 435,154	△ 151,701	131,484

■ 中間要約連結株主資本等変動計算書 (平成19年3月1日から平成19年8月31日まで)

(単位：千円)

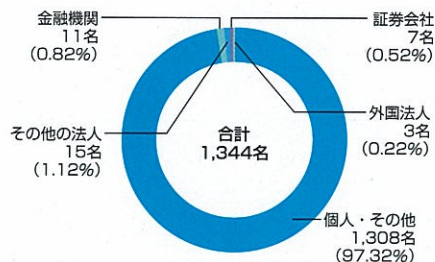
	株主資本				評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年2月28日 残高	327,893	263,954	2,348,408	△ 1,395	2,938,860	49,060	12,823	61,883	622	3,001,367
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当(注)	—	—	△ 41,947	—	△ 41,947	—	—	—	—	△ 41,947
中間純損失	—	—	△ 435,154	—	△ 435,154	—	—	—	—	△ 435,154
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 13,478	3,488	△ 9,989	1,179	△ 8,810
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 477,101	—	△ 477,101	△ 13,478	3,488	△ 9,989	1,179	△ 485,912
平成19年8月31日 残高	327,893	263,954	1,871,307	△ 1,395	2,461,758	35,581	16,312	51,894	1,801	2,515,454

(注) 平成19年5月の定時株主総会における利益処分項目であります。

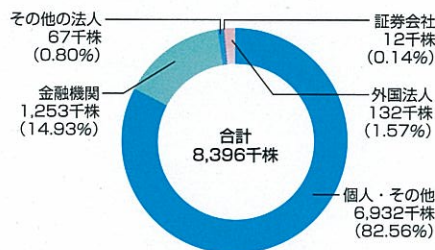
- 発行可能株式総数 22,640,000株
- 発行済株式の総数 8,396,000株
- 株主数 1,344名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
立 木 貞 昭	2,637,600	31.44
京 進 社 員 持 株 会	618,800	7.38
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	342,000	4.08
立 木 泰 子	254,800	3.04
立 木 康 之	254,400	3.03
白 川 寛 治	250,000	2.98
株 式 会 社 京 都 銀 行	208,000	2.48
株 式 会 社 池 田 銀 行	208,000	2.48
株 式 会 社 滋 賀 銀 行	206,000	2.46
立 木 里 実	200,000	2.38

■ 所有者別株主分布



■ 所有者別株式数分布



■ 事業所

(平成19年10月15日現在)

	京都	滋賀	大阪	兵庫	奈良	愛知	三重	岐阜	埼玉	千葉	東京	神奈川	長野	石川	岡山	広島	香川	徳島	福岡	大分	熊本	鹿児島	海外	計	
小 中 部 京 進	30	28	6		6	14		1																3	88
個別指導部 京進スクール・ワン	34	20	35	21	16	15	1			1	3	1		1	1	2	1		2		1				155
FC事業部直轄 京進スクール・ワン									1	1												1			3
高 校 部 京 進 高 校 部	5	4	1			1																			11
英会話事業部 ユニバーサルキャンパス	2	1																							3
家庭教師事業部 京進プリバータ	1																								1
Net 学習事業部 京進 e-DES	1																								1
直 営 計	73	53	42	21	22	30	1	1	1	2	3	1		1	1	2	1		2		2		3	262	
FC 事業部 京進スクール・ワン	4	3	10	1	2	10	1			3	8	8	2		1	3	2	2	2	2	1		1		64
京進ブランド計	77	56	52	22	24	40	2	1	1	5	11	9	2	1	2	5	3	2	4	1	2	1	3		326

※上記には、子会社ドイツデュッセルドルフ校、香港校、中国広州校を含んでいます。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
  - 定時株主総会の基準日 2月末日
  - 期末配当の基準日 2月末日
  - 中間配当を行う場合の基準日 8月31日
  - 定時株主総会 5月
  - 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
  - 同 事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
  - 同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
  - 郵便物送付先 大阪東支店私書箱第455号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
  - 電話照会先 0120-094-777
- 株主関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
- 電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）  
0120-684-479（大阪証券代行部）  
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。
- インターネットホームページ <http://www.kyoshin.co.jp/>

## 会社概況（平成19年8月31日現在）

- 商号 株式会社京進  
KYOSHIN CO., LTD.
- 本社所在地 〒600-8177  
京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1  
Tel. 075-365-1500（代表）
- 創業 昭和50年6月
- 設立 昭和56年4月2日
- 資本金 327,893千円
- 役員  
代表取締役社長 立木 貞昭  
専務取締役 白川 寛治  
取締役 土坂 義高  
取締役 高橋 良和  
取締役 樽井 みどり  
取締役 福澤 一彦  
常勤監査役 福盛 貞蔵  
監査役 中元 視暉輔  
監査役 尾川 宣之
- 従業員 764人  
（出向社員10人を含んでおります。）

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kyoshin.co.jp/>



本社 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1  
TEL 075-365-1500(代表) FAX 075-365-1511(代表)

※環境への負担低減の為、再生紙および大豆油インキを使用しております。

